

信州東つりトラン

二年 余本俊明

今年の秋は一人で信州へ行つた。出発は10月  
4日未明、まだ暗く誰もいない駅前で輪行用籠  
出発時といつのはすべて準備を終えた状態が理  
想的なのに、これから輪行しなければと思つと、  
何となく落ちつかない。めんどうな作業だ。

十時頃、上信電鉄下仁田駅(群馬)から内山  
峠に向つて走り出す。が、全くの向い風、その  
上、膝も痛み出す。何かかりやな予感かしてき  
た。すると、前方に「内山峠通行止」の標識が  
見えるではないか。仕方なく、和美酒(軽井沢  
ルート)に変更。全くの期外れた。本当な  
ら、内山峠から秋の信州を見晴らし、神津牧場  
でのんびり昼寝でもするはずだったのだ。

何しろ和美酒を苦勞して上ばつても、峠の先は  
真平らで軽井沢の町が拡がっているだけ。全く  
峠という雰囲気でない。その先の矢野は、ひど  
い向い風のたたりならなより下りて、重は思い  
やり飛ばしてゆく。とにかく明日あさつてに期  
行をかけていやいやペダルをこいた。

次の日は打つて変わつて印象のよい一日だっ  
た。液体ケロソックスのおかげで膝の痛みもまあ  
まあたし、空も快晴に近い。車坂峠を上ほりま  
ると、期外羅りの見晴らしで千曲川沿いの町や田  
が藪のように続いているのが遠か下に見える。  
冷たい風で汗もすっかり乾き、久しぶりの爽快  
感を味わった。ここから湯の丸林道に入り、  
地蔵峠へ向う。しばらくは標高三千メートル程  
たりを上下する地帯が続く。下りの町々をなが

めたり、林道を切り分けた山へといって、五林道か  
ら見れば丘のような感じに変わった。降りしてのん  
かりと歩いた。芝のせいかな、地蔵峠に着いたの  
は5時頃になつてしまひ、峠の下りは日陰にな  
つていて寒かつた。しかし今一日で、前日のつ  
いていなかつた分は報われたという感じだつた。  
三日目は美ヶ原へ上つた。三日目ともなると  
と夏合宿のペースを完全に取り戻し順調に上つ  
つた。この日も天気は良かったので、昼食後原  
ついで増える山のんびりした。その言葉は、去  
年の秋のフリーランでは最終日霧ヶ峰の車山に  
登り、美ヶ原を眺めながら行つてもよかつた  
なあれと語したのを思い出した。そんな事を考  
えながら霧ヶ峰方面を見渡すと、何となくその  
年の夏を思い出しているよつな気がした。

昨日今日といひ気分でもり如か緩んだせいか  
下りで草々しく転倒してしまつた。カーブで突  
然前方からバスが現れたので、転倒してでん  
ごり返つてバスと止まつたのだ。  
今回は、まあ最初と最後がよい。こまが  
たが、信州毛布といひ所だといふ印象を受けた  
道を走つていて、所々に面白そうなる道に入  
口を通りかかつたりする。そんな所も今日は走  
つてみようかと考えながら、今日夕日家へ向つ  
た。

《コース》

- 10/4 下仁田(和美酒) - 藪井沢 - 大屋
- 10/5 大屋 - 小諸 - 車坂峠(深の沢林道) - 地蔵峠 - 大屋
- 10/6 大屋 - 前沢峠 - 美ヶ原 - 山本小屋 - 大屋